

TBS HOLDINGS

第96期 報告書

2022年4月1日 ▶ 2023年3月31日

証券コード 9401

株主のみなさまへ

株主のみなさまには平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2022年度、中核の放送事業でTBSテレビは新ファミリーコア層(男女4~49歳)の視聴率において、ゴールデン帯・プライム帯で、通期で初となる2位を獲得しました。連結の業績は売上高と営業利益がともに2009年度のホールディングス化以降で最高を記録しました。2023年度も、増収かつ営業利益・経常利益の増益を予想しています。

私たちは「TBSグループVISION2030」を策定し、「EDGE戦略」「中期経営計画」に沿って「ポストコロナを見据えた成長への種まき」を続け、成果が形になりつつあります。

4月に公開した劇場版「TOKYO MER～走る緊急救命室～」は興行収入が40億円を超える大ヒットとなっています。6月には、海外戦略の新社「THE SEVEN」が戦略的提携契約を締結したNetflixで、オリジナルストーリー「離婚しようよ」の全世界配信が始まったほか、その他の海外OTTにも企画提案を行っており、2023年度中に複数本が正式決定する見込みです。重点的に投資を続けているアニメについては、10月に地上波テレビに新たな枠を設け、「七つの大罪 黙示録の四騎士」の全国ネットでの放送を開始します。グループをあげてアニメに力を入れてまいる所存です。

この春には、本社前のビルに「Tech Design X(テックデザインクロス)」というイノベーションスペースを開設しました。最先端の技術を使った演出を実験できる場所で、赤坂から世界に向けて新しいエンタテインメントを発信していきます。

私たちはこれまでに培った信頼をさらに深化させ、TBSをグローバルなコンテンツブランドへと成長させていく決意です。引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

株式会社TBSホールディングス
株式会社TBSテレビ
代表取締役社長

佐々木 卓

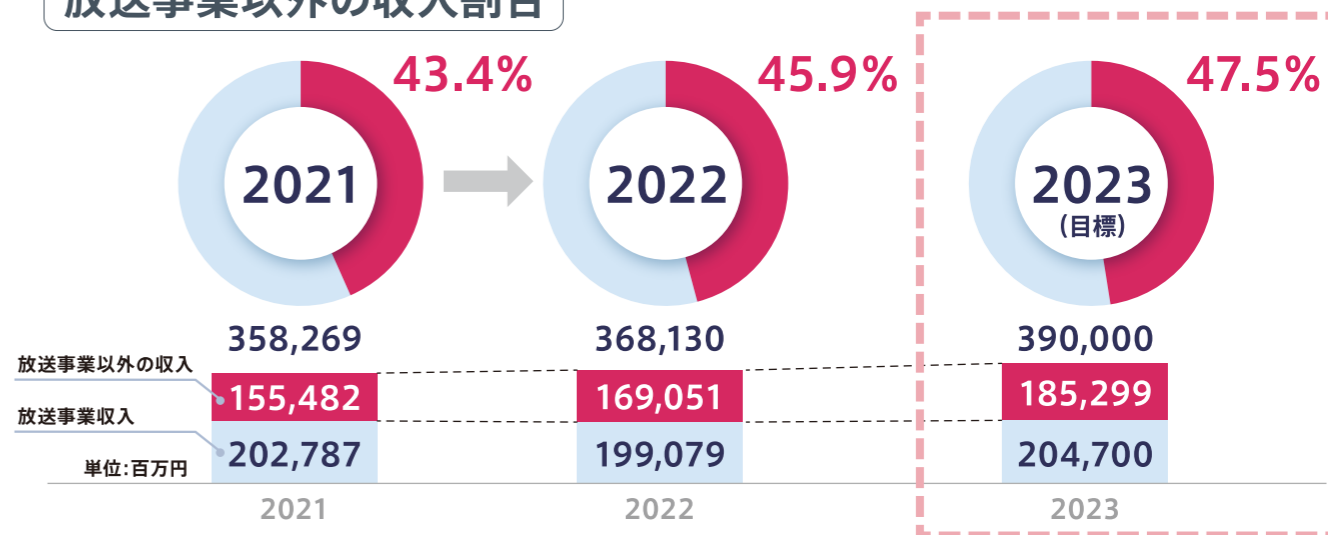
あらゆる「最高の“時”」へ 2030年のあるべき姿に向けて

TBSグループ VISION2030

放送の価値向上に取り組むと同時に、
放送の枠を超え、コンテンツを軸に成長を目指す



放送事業以外の収入割合

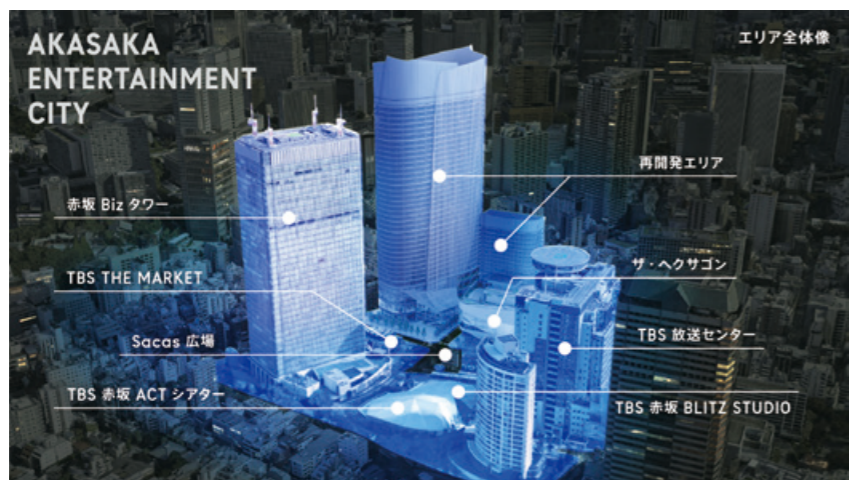


創造性を発揮できる職場づくりのために



「サステナビリティ委員会」のもとに「ウエルネス・ワーキンググループ」を設置し、社員が心身ともに安全で働きがいがあり、創造性を発揮できる職場づくりを進め、健康経営を推進しております。この活動に対し、2023年3月、経済産業省より、「健康経営優良法人2023(大規模法人部門)」に認定されました。

赤坂の街が変わる！「赤坂エンタテインメント・シティ計画」



赤坂二・六丁目地区開発計画は、東棟は鹿島建設、西棟は大林組の施工に決定し、いよいよ本年11月に新築着工となり、2028年竣工を目指し予定通りに進めております。

西棟には、最新技術の活用、世界水準のエンタテインメントを提供・発信する劇場・ホールを整備し、国内外から幅広い客層を呼び込む賑わいを形成、来街者に「最高の“時”」を感じていただける街を目指します。

オリジナルコンテンツで世界に“心揺さぶる時”を届ける

「100万回 言えばよかった」や「ペンディングトレイン—8時23分、明日 君と」など、グローバルプラットフォームで好評を博した地上波ドラマに続き、配信オリジナル作品としてNetflixシリーズ「離婚しようよ」を制作、6月から全世界配信が開始されました。本作はドラマ界のトップランナーとして話題作を世に送り出している宮藤官九郎と大石静、2人の共同脚本。しかも交換日記のように、交互に脚本を書き継いでいくスタイルによるオリジナルストーリーです。気持ちはすでに冷めきっているものの、それぞれの事情ですぐには離婚できない夫婦を描くコメディ作品で、松坂桃李さん、仲里依紗さんが夫婦役を演じます。



TBS TELEVISION | ドラマ

王道ドラマの日曜劇場!

4月期の「ラストマン-全盲の捜査官-」は福山雅治さん演じる全盲のFBI捜査官と大泉洋さん演じる日本警察の刑事という異色で豪華なバディの活躍が注目され、日曜劇場のブランド価値をさらに高めました。そして、7月期は堺雅人さん、阿部寛さん、二階堂ふみさん、松坂桃李さん、役所広司さんといった日本を代表する俳優陣が豪華初共演を果たす「VIVANT」が放送されます。原作・演出は「半沢直樹」シリーズ、「下町ロケット」シリーズなど数多くの大ヒットドラマを世に送り出してきた福澤克雄が務めます。テレビドラマの新時代を切り拓く壮大なアドベンチャードラマにご期待ください!



バラエティ

「ラヴィット!」 日本の朝をもっと明るく!

“日本でいちばん明るい朝番組”「ラヴィット!」。2022年度は「ラヴィット!」にとって飛躍の年になりました。女性層を中心に視聴率は右肩上がり、年末には初のゴールデン特番「ゴールデンラヴィット!」を生放送。ギャラクシー賞の月間賞を受賞し「出演者やスタッフらが、テレビを使って全力で遊び、楽しんでいる様子が伝わってくる」と評価されました。今年4月からは、土曜朝にその週の見どころを凝縮した「夜明けのラヴィット!」もスタート! 日本の朝を、さらに明るくしていきます!



バラエティ

エンタメでさらに明るく!

4月改編のテーマは「エンタメでさらに明るく!」。GP帯では明るくポジティブな新番組がスタートしました。火曜よる7時は、世界中で大流行している“神業動画”に芸能人が本気で挑戦する「THE神業チャレンジ」。現場に生まれる緊張感と、その先にある喜びをお届けします。金曜よる8時はゴールデン帯に進出した「それSnow Manにやらせて下さい」。いま最も勢いがあり、幅広い世代から支持されているSnow Manが、喜怒哀楽をむき出しに全力で頑張るバラエティで、見終わった後に「楽しかった」「元気をもらった」という気持ちになっていただける番組を目指します!



スポーツ

届け、スポーツのチカラ。

3月に行われた「WBC」では、侍ジャパンが14年ぶりの優勝という大活躍で、日本中にたくさんの感動をお伝えすることができました。今年度も8月にハンガリー・ブダペストで開催される「世界陸上」、9月から10月にかけて中国・杭州で開催される「アジア大会」とスポーツのビッグイベントが続きます。TBSではこの2つの大会を生中継! 両大会ともに江藤愛アナウンサー、石井大裕アナウンサーが総合司会、高橋尚子さんがスペシャルキャスターを務め、スポーツのチカラをお届けします!



アニメ

新たな全国ネットのアニメ枠が誕生！ 「五等分の花嫁」新作の制作も決定！！

今年10月に全国ネットのアニメ枠が新たに誕生します。記念すべき1作目は、週刊少年マガジンで連載中の「七つの大罪 黙示録の四騎士」。これまで幾度も映像化された「七つの大罪」の聖戦から16年後の物語で、心優しき少年・パーシバルと仲間たちの痛快冒険ファンタジーです。また、昨年劇場版が公開され興収22.4億円の大ヒットを記録した「五等分の花嫁」の新作アニメがこの夏に登場！物語は劇場版でフィナーレを迎えましたが、商品化が好調な売上を維持するなど未だ人気が高いことを受け、原作で映像化されていないエピソードをアニメ化します。

七つの大罪 黙示録の四騎士
©鈴木央・講談社/「七つの大罪 黙示録の四騎士」製作委員会



五等分の花嫁の
新作アニメーション
制作決定!!
©春場ねぎ・講談社/「五等分の花嫁」製作委員会



映画

最高に切ないラブストーリー＆ 新時代のジャパニーズホラー！

ティーンから絶大な人気を誇る青春小説を映画化した「交換ウソ日記」(7月7日公開)は、すれ違いから始まる最高に切ないラブストーリー。学校イチのモテ男子を高橋文哉さん、不器用なヒロインを桜田ひよりさんが演じます。

橋本環奈さんと重岡大毅さん(ジャニーズWEST)のW主演でお送りする「禁じられた遊び」(9月8日公開)は、人気ホラー小説を原作に「リング」や「スマホを落とすだけなのに」の中田秀夫監督のメガホンで映画化。最恐ジャパニーズホラーにご期待ください！

映画「交換ウソ日記」
©2023「交換ウソ日記」製作委員会



映画「禁じられた遊び」
©2023映画「禁じられた遊び」製作委員会



事業・イベント

魔法の世界は舞台へ続く ハリー・ポッター、19年後のストーリー

2022年夏に、TBS開局70周年記念公演として開幕した舞台「ハリー・ポッターと呪いの子」は、総観客動員数が50万人を突破し、ますますの盛り上がりを見せています。世界各国でも数々の演劇賞を受賞している本作ですが、日本においても、今年2月に第30回読売演劇大賞の選考委員特別賞を受賞、5月には第48回菊田一夫演劇賞で大賞を受賞しました。さらに、2024年3月までの公演延長も発表。今後も続く魔法の世界にご期待ください！

舞台「ハリー・ポッターと呪いの子」



赤坂Bizタワーエリア

赤坂のシンボルタワーとして存在感を放ってきた赤坂Bizタワーは今年で竣工16年目を迎えました。約1万人のワーカーが在籍するオフィス棟は、赤坂駅直結の強みを活かして好評を博しています。商業エリアは「あらゆる世界を揺さぶる、エンタテインメントの街へ。Shake the World. AKASAKA」をエリアコンセプトに、舞台「ハリー・ポッターと呪いの子」の開幕にあわせて改装を行い、ハリー・ポッターの世界観を創り上げ、多くの方から高い評価をいただいています。また、赤坂Bizタワー・サカス広場を中心としたイベントを積極的に仕掛けていくことで、赤坂の街をエンタテインメントの発信源としてさらに発展させることを目指しています。

一方で、省電力に向けた施策を積極的に進めるとともに、RE100やESG、SDGsへの取り組みとして、この春より赤坂Bizタワーにグリーン電力を導入。カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現に向けた取り組みも進めています。

© & ™ Warner Bros. Entertainment Inc. Publishing Rights © JKR. (s23)



BS-TBS

“ここにしかない世界がある”

春の改編テーマを「オトナを楽しもう。」とし、今期も50代男女をメインとする視聴者拡大路線を進めています。新番組「走る別荘!車中泊の旅」に加え、スポーツでは“世界最強国決定戦”といわれる「バレーボールネーションズリーグ2023」の熱い戦いを今年も放送しています。7月期の木曜ドラマ23は、13年ぶりにリメイクした「怪談新耳袋 暗黒」を放送し、配信、イベントなど幅広く力を注いでいきます。看板番組「報道1930」は、昨年7月に放送した「激震・旧統一教会と日本政治 問われる政治との距離感」が第60回ギャラクシー賞テレビ部門優秀賞を受賞しました。放送6年目に向けビジュアルを一新しさらにグレードアップしてまいります。目の肥えたオトナたちが満足できるコンテンツを揃え“ここにしかない世界がある”をブランドコンセプトに、さまざまなオリジナルコンテンツを制作してまいります。



TBSラジオ

FM90.5 + AM95.4

ポッドキャスト配信、続々スタート!

TBSラジオでは、今世界的に注目されているPodcastに注力しています。「ジェーン・スーと堀井美香の『OVER THE SUN』」をはじめ、TBSラジオのPodcastの多くが各プラットフォームでランキングの上位を占めています。今春からは若手芸人がしのぎを削り、TBSラジオの地上波番組枠を目指す「N93」、TBSラジオの国会担当・澤田大樹記者が制作、出演する「セイジドウラク」などさまざまな新しい配信コンテンツをスタートさせました。「セイジドウラク」は配信初週にSpotify、Apple Podcastの総合ランキングで1位を獲得しました。リスナーの半数は女性が占めるなど、政治を語る番組としては異例の人気を集めています。

4月改編では放送とPodcastが連動した番組「こねくと」をスタートさせました。TBSラジオはPodcastに全力でチャレンジし続けていきます。

TBS Podcast

プラザのオリジナルパッケージ商品、高評価で相次ぎ受賞

スタイリングライフ グループで雑貨小売業のプラザスタイルが展開する生理用品「The Week」。オリジナルパッケージでZ世代をはじめ幅広い層から支持されています。また、その開発意図やデザイン性などが高評価をいただき、受賞が相次いでいます。

今年3月に開催された「名古屋ウィメンズマラソン2023」では「The Week」を参加ランナーに提供。好評を博しました。



Z世代のこことからだすがすこやかでいられるように、新たな商品や情報との出会いを届けるプロジェクト「Nice to meet me!」から誕生した生理用品「The Week」。



昨春に全国のPLAZA店舗とオンラインで販売開始。Z世代をはじめ幅広い層から高い反響を獲得。

「第7回 女性のあした大賞」 フェム部門・優秀賞

女性のあしたに輝く社会に貢献していると考えられる商品・サービスを表彰するもの。未来へ貢献する技術や志も評価して選考。



授賞のポイント

女性の健康に寄り添いたいという願いを具体化した商品開発。“カワイイ”や“ワクワク”と同時に生理用品であることが伝わり、購入しやすい。

「ソーシャルプロダクツ・アワード2023」 ソーシャルプロダクツ賞

ソーシャルプロダクツの普及・推進を通し、持続可能な社会を実現することを目的とした、日本で初めての、そして唯一の表彰制度。



授賞のポイント

購入ストレスを減らすパッケージデザイン。自ら生理用品を選択する機会を与えるきっかけとなっている。

「一緒にやろう SDGsの日」8時間生放送!

6回目を迎えたSDGsキャンペーン「地球を笑顔にするWEEK」(5月14日～20日)。最終日の5月20日(土)には「一緒にやろうSDGsの日」と題して、TBSのバラエティ・報道・情報・ラジオから20を超える番組が結集し、8時間生放送の超大型特番をお届けしました。番組のテーマは「ごみを宝に!」。最も身近なSDGsの課題である「ごみ」にフォーカスし、ごみの廃棄問題や食品ロス、リサイクル、リユース、アップサイクルなどについて多角的かつ趣向を凝らした切り口で伝え、視聴者のみなさまに「一緒にやろう!」と呼びかけました。SDGsに特化したこのような大型特番は世界を見ても例がなく、国連関係者からも注目されています。



「地球を笑顔にするACTION」始動

TBSが若者たちと一緒にさまざまな社会課題について考え、解決策を提案しようというコミュニティ「地球を笑顔にするACTION」が始動しました。コミュニティには小学生から大学生までが参加し、「若者たちの興味・関心×TBSのメディアとしての発信力」でさまざまなACTIONを起こしています。SDGsイベントでは赤坂の飲食店と一緒に開発した「ミートフリー」メニューを実際に販売したり、ドラッグクイーンとして活躍するドリアン・ロロブリジーダさんをゲストに迎えて「自分らしさを見つける」をテーマにしたワークショップを開催しました。TBSラジオ「SDGsジャンクション」(「アフター6ジャンクション」内のコーナー)ではメンバーをはじめ多様な人々のACTIONを紹介しています。ほかにもメンバーの一部は社長・佐々木との座談会に参加するなど、積極的に活動中です。



当社グループが保有する「コンテンツ」に直接触れていただける機会をご提供することで、当社グループへのご理解をさらに深めていただき、より多くの株主様に長期に当社株式を保有いただくことを目的として、株主優待制度の拡充をいたしました。

2023年度
New

- A: TBS大型番組リハーサル参加【抽選】**
 - 「オールスター感謝祭」リハーサル参加
 - 対象: 100株以上保有の株主様 (応募者から抽選で15組30名様)
 - 「SASUKE」リハーサル参加
 - 対象: 100株以上保有の株主様 (応募者から抽選で5名様。1名様1名の同伴可能)
- B: 番組観覧へのご招待【抽選】**
 - 「SASUKE」収録の観覧へのご招待
 - 対象: 100株以上保有の株主様 (応募者から抽選で25組50名様)
 - 「大型お笑い番組」生放送の観覧へのご招待
 - 対象: 500株以上保有の株主様 (応募者から抽選で3組6名様)
 - 「2023年輝く!日本レコード大賞」観覧へのご招待
 - 対象: 1,000株以上を3年以上保有の株主様 (応募者から抽選で10組20名様)
- C: 当社出資の映画・イベントへのご招待【抽選】**
 - 映画「片思い世界」(2024年全国公開予定)の劇場鑑賞券を進呈
 - 対象: 1,000株以上保有の株主様 (応募者から抽選で200組400名様)

詳しい株主優待内容と応募サイト、応募方法等は同封の「株主優待(抽選)のご案内」に記載しております。ご参照の上、ご応募ください。

100株以上保有の株主様【全員】
 「新人アナウンサー写真入り QUOカード(特製)」
 額面1,000円(1枚)を進呈

200株以上を2年以上保有の株主様【全員】
 「アナウンサー 2024年卓上カレンダー」
 2023年秋ごろ、1部ご送付

500株以上を3年以上保有の株主様【全員】
 「PLAZAショッピングカード(特製)」
 額面2,000円(1枚)を進呈

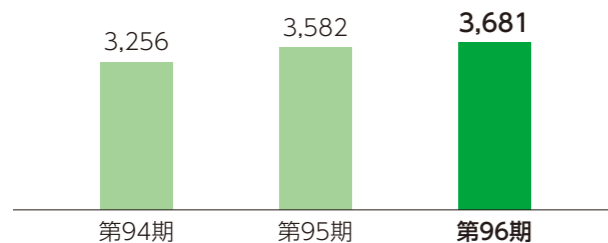
株主優待サイト
<https://www.tbsholdings.co.jp/ir/stakeholders/benefits.html>

本報告書の電子提供について
 次回、第97期中間報告書より、WEB版での電子提供となります。株主のみなさまにより多くの情報をお届けできるよう努めてまいりますので、引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

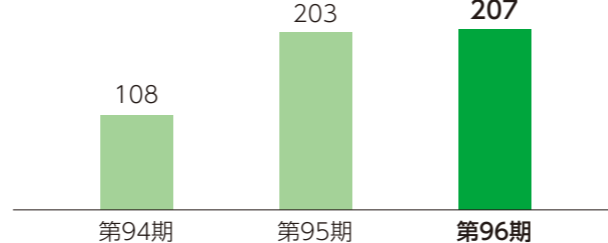
株主様向け報告書ページ
<https://www.tbsholdings.co.jp/ir/stakeholders/>



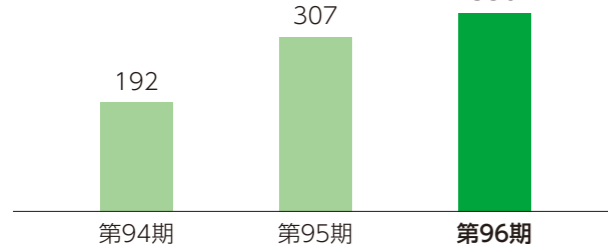
売上高 (単位：億円)



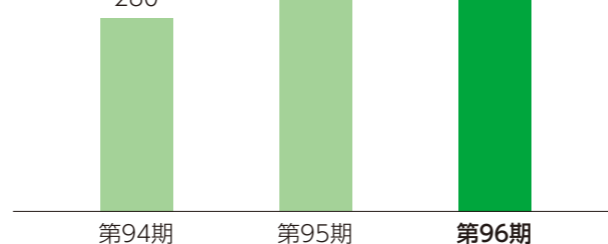
営業利益 (単位：億円)



経常利益 (単位：億円)



親会社株主に帰属する当期純利益 (単位：億円)



POINT

●売上高

「メディア・コンテンツ事業」は、中核の(株)TBSテレビの放送収入が減収となった一方、配信広告収入や国内及び海外有料動画配信、事業収入が増収となり、セグメント全体では前年比1.4%の増収でした。「ライフスタイル事業」は、新型コロナウイルス感染症に伴う自粛要請解除による人流回復等により店舗販売が復調するなど、前年比8.8%の増収でした。「不動産・その他事業」は、前年比4.3%の増収で、全体では前年比2.8%の増収でした。

●営業利益

「メディア・コンテンツ事業」は前年比0.2%の減益、「ライフスタイル事業」は前年比29.7%の増益、「不動産・その他事業」は前年比3.7%の減益で、全体では前年比2.1%の増益でした。

●経常利益

前年比14.3%の増益でした。

●親会社株主に帰属する当期純利益

前年比9.9%の増益でした。

会社の概要 (2023年3月31日現在)

創 立 1951年5月10日 (設立登記5月17日)
 商 号 株式会社TBSホールディングス
 英文表示 TBS HOLDINGS,INC.
 本 社 東京都港区赤坂五丁目3番6号
 資 本 金 54,986,892,896円
 事 業 内 容 認定放送持株会社
 傘下子会社およびグループの経営管理、不動産事業

取締役・監査役 (2023年6月29日現在)

取締役会長 武田 信二	取 締 役 八木 洋介
代表取締役社長 佐々木 卓	取 締 役 春田 真
代表取締役 河合 俊明	取 締 役 武井 奈津子
取 締 役 菅井 龍夫	常勤監査役 西野 智彦
取 締 役 渡辺 正一	常勤監査役 市川 哲也
取 締 役 菅木 雅哉	監 査 役 北山 禎介
取 締 役 柏木 斉	監 査 役 藤本 美枝
	監 査 役 竹原 相光

(注1) 取締役のうち、柏木 斉、八木 洋介、春田 真、武井 奈津子の4氏は社外取締役であります。

(注2) 監査役のうち、北山 禎介、藤本 美枝、竹原 相光の3氏は社外監査役であります。

株式の状況 (2023年3月31日現在)

発行可能株式総数 400,000,000株
 発行済株式の総数 171,591,065株
 株主数 21,638名

大株主およびその持株数(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	13,996,400	8.29
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(退職給付信託口・株式会社電通口)	9,310,500	5.52
株式会社MBSメディアホールディングス	8,848,100	5.25
三井不動産株式会社	5,713,728	3.39
株式会社NTTドコモ	5,713,000	3.39
日本生命保険相互会社	5,006,235	2.97
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	4,478,782	2.65
三井物産株式会社	4,288,000	2.54
株式会社ビックカメラ	4,190,000	2.48
株式会社講談社	3,771,200	2.23

(注1) 持株比率は、自己株式(3,211,174株)を控除して計算し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

(注2) 当事業年度末の外国人等の議決権に占める放送法上の割合は、15.95%であります。

(注3) 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(退職給付信託口・株式会社電通口)の持株数9,310,500株は、株式会社電通が保有する当社株式を退職給付信託に拠出したものであります。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月

外国人等の株主名簿への記載又は記録の制限
放送法の規定にもとづき、当社定款には次の規定があります。
定款第10条 当社は、次の各号に掲げる者（以下、「外国人等」という）のうち第1号から第3号までに掲げる者により直接に占められる議決権の割合とこれらの者により第4号に掲げる者を通じて間接に占められる議決権の割合として総務省令で定める割合とを合計した割合が当社の議決権の5分の1以上を占めることとなるときは、放送法の規定に従い、外国人等の取得した株式について、株主名簿に記載又は記録することを拒むことができる。

- 1.日本の国籍を有しない人
- 2.外国政府又はその代表者
- 3.外国の法人又は団体
- 4.前3号に掲げる者により直接に占められる議決権の割合が総務省令で定める割合以上である法人又は団体

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒183-0044
東京都府中市日鋼町1-1
TEL.0120-232-7111（通話料無料）

同 郵 送 先
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081
新東京郵便局 私書箱第29号

上場金融商品取引所 東京証券取引所 プライム市場

単元未満株式の買取
1単元の株式数
買取・買増手数料
100株
無料

公告の方法 東京都において発行する毎日新聞に掲載する。

インターネット
ホームページ <https://www.tbsholdings.co.jp/>

【株式に関するお手続きについて】

○ 証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先	
○ 郵送物等の 発送と返戻に関するご照会 ○ 支払期間経過後の 配当金に関するご照会 ○ 株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿 管理 人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1 TEL.0120-232-7111（通話料無料）
○ 上記以外のお手続き、ご照会等		口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

○ 特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先	
○ 特別口座から一般口座への振替請求 ○ 単元未満株式の買取・買増請求 ○ 住所・氏名等のご変更 ○ 特別口座の残高照会 ○ 配当金の受領方法の指定（*）	特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1 TEL.0120-232-7111（通話料無料）
○ 郵送物等の 発送と返戻に関するご照会 ○ 支払期間経過後の 配当金に関するご照会 ○ 株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿 管理 人	

（*）特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式は選びいただけません。

【ご 注 意】

1. 株主様の住所変更、買取・買増請求、配当金の振込指定、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店においてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

少額投資非課税口座（NISA口座）における配当等のお受け取りについて

新規に購入された当社株式をNISA口座で所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関（証券会社等）を通じて配当等を受け取る方式である「株式数比例配分方式」をお選びいただく必要があります。

○所有の株式のうち、特別口座に記録された株式をお持ちの株主様は「株式数比例配分方式」をお選びいただくことができませんのでご注意ください。NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。